

1. 鳥取県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	313,420,515	
	内訳	うち、国費相当額	155,710,258
		うち、地方負担相当額	157,710,258
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	408,855	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	42,254,805	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	271,574,565	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	136,787,283
		うち、地方負担相当額	134,787,283
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		271,574,565	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		283,041,000	
⑩	保有割合		0.959	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等				
1	ゼロカーボン普及促進事業	2,187,464	0	2,187,464	78%		
2	水素エネルギー啓発事業	689,499	0	689,499	51%	1,000	4,000
3	環境教育・実践推進事業	21,133,765	0	21,133,765	55%	21,954	87,816
4	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	837,198	0	837,198	16%	10,233	40,932
5	もったいない！食べ残しゼロ事業	5,136,362	0	5,136,362	16%		
6	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	5,115,141	0	5,115,141	49%	3,802	12,328
7	生物多様性保全事業	0	0	0	16%		
8	とっとり健康省エネ住宅普及促進事業	5,223,710	0	5,223,710	30%	5,694	14,694
9	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	681,666	0	681,666	29%	1,250	15,000
10	「ラムサール条約湿地」中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	1,250,000	0	1,250,000	10%	1,500	6,000
11		0					
12	(以下は令和5年度以降の基金充当事業)	0					
13	若者がつなぐトトリポーン！促進事業	0				12,271	72,271
14	鳥取スタイルPPA導入推進事業	0				6,000	18,000
15	自然共生サイト保全活動推進事業	0				3,000	12,000
合計		42,254,805	0	42,254,805		66,704	283,041

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）登録人数 200人（令和8年度） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数 150人（令和8年度） ○エコ宣言の数 30,000人（令和8年度） ○こどもエコクラブ登録人数 10,000人（令和8年度） ○「とっとり自然環境館」及び「とっとり水素学習館」の合計来場者数 10万人（令和8年度） ○一般廃棄物排出量 193千トン ○「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体数 45団体（令和8年度） ○延べ40拠点での普及啓発を行う（令和8年度）
成果実績	<p>【累計実績（H30～R4）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ゼロカーボン普及促進事業」にかかわった人数：3,878人…78% ○水素エネルギー普及啓発イベントの来場・参加者数：2,570人…51% ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）登録人数：129人（累計 227人） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数：13人（累計 114人） ○エコ宣言の数：5,926人（累計 9,946人） ○こどもエコクラブ登録人数：655人（累計 9,104人） …55% ○「とっとり自然環境館」及び「とっとり水素学習館」の合計来場者数：62,310人 … 62% ○一般廃棄物排出量：17,335トン減 … 67% ○ごみゼロ社会実現化プロジェクト事業における啓発活動実施累計件数：4回…16% ○食品ロス食べきり協力店の登録数：34件…16% ○プラごみ削減取組協力企業等の登録件数：13件…49% ○県が行う希少野生動物保護や外来生物の防除等への取組参加者数：年間555人…16% ○木造建て住宅の新築着工戸数に対するとっとり健康省エネ住宅の割合：31%…30% ○「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体数：13団体…29% ○普及啓発を行った拠点数：4拠点…10%
目標値	100%
達成度	40%（全事業平均）

令和4年度 事業報告書

事業名	ゼロカーボン普及促進事業（CO2を減らして未来を守る県民運動推進事業の継続）	新規・継続区分	継続
事項名	ゼロカーボン普及促進事業	開始年度	令和2年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 家庭のCO2排出削減に向けた実践的な取組の実現を図るため、事業者や鳥取県地球温暖化防止活動推進センター等と連携して普及啓発に取り組むとともに、市町村等が実施する住民向けの環境実践活動を支援する。</p> <p>【目標】 事業にかかわった人数（来場者数、参加者数等） 累計5,000人</p> <p>【令和4年度実績】 事業にかかわった人数（来場者数、参加者数等） 2,368人（累計3,878人）</p>
--

2. 概要

<p>2050年の脱炭素社会に向けた動きやSDGsへの関心が拡大している中、持続可能な未来に向けてCO2のさらなる排出削減を推進するため、本県排出量の約1/4を占める家庭部門への働きかけを一層強化していくことが必要となっている。このため、市町村や鳥取県地球温暖化防止活動推進センターと連携し、脱炭素に図る全県的な機運醸成を推進するとともに、家庭のCO2排出削減に向けた実践的な取組の充実を図る。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定） ○鳥取県CO2削減・省エネ推進補助金交付要綱（令和2年4月～）</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 「とっとりゼロ・カーボン・チャレンジ」啓発キャンペーン	<p>温暖化対策の現状や取り組むべき課題等について幅広く県民の理解を広げるため、WEBやSNSを活用した広報やキャンペーンを実施したり、県民向けイベントに出展した。</p> <p>【内容】 集客イベント等へのブース出展（動画・パネル展示、省エネ・再エネ体験）、WEBやSNSを活用した広報やキャンペーンの実施（省エネ診断の普及啓発など）</p>
(2) ゼロカーボン普及啓発事業	<p>家庭における省エネ意識の定着や先進的事例の他市町村への拡大を推進するため、市町村、NPO等の民間団体が地域住民向けに行う以下の取組等を支援した。</p> <p>○ゼロカーボン普及補助金 【補助率】1/2 【限度額】1,000千円 【補助要件】 ・市町村が実施する他市町村の意識改革に繋がるような先進的な取組、ワークショップ、セミナー等 ・NPOなどの住民団体が実施する断熱ワークショップなど ・民間団体が実施するイベントに「ゼロカーボン」の要素を付加した際に係る経費（従来から実施しているものは対象外）</p> <p>北栄町が町内の小学生を対象に、地球温暖化対策や再生可能エネルギーについて出前授業を実施後、家庭で実施してもらうための学習ノートを配布し、家庭でできる省エネについての定着を図った。</p>

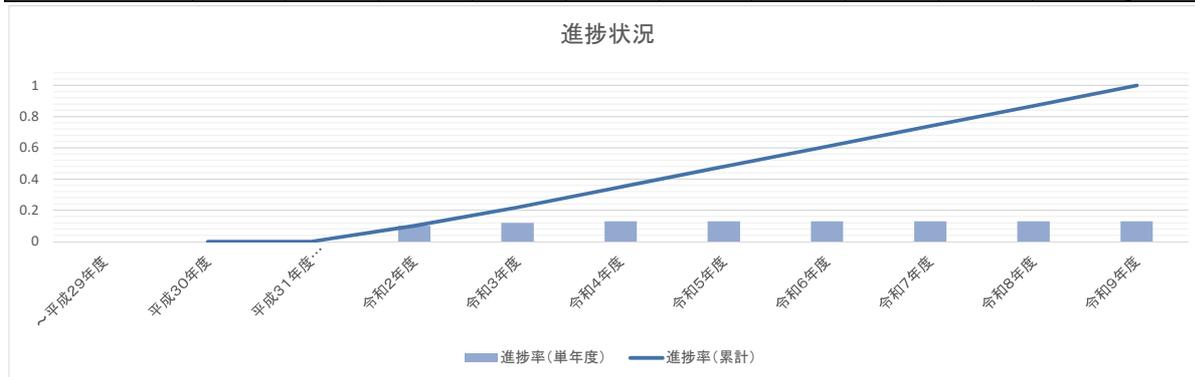
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	1,992,300	0	1,992,300	「とっとりゼロ・カーボン・チャレンジ」啓発 キャラバン
補助金	195,164	0	195,164	ゼロカーボン普及補助金（ゼロカーボン普及促 進事業）
合計	2,187,464	0	2,187,464	(単位：円)

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		0	0	4,812	3,953	2,187	12,271	20,000	20,000	20,000	
事業費（累計）		0	0	4,812	8,765	10,952	23,223	43,223	63,223	83,223	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		0%	0%	0%	30%	48%	6%	5%	6%	5%	
進捗率（累計）		0%	0%	0%	30%	78%	84%	89%	95%	100%	



令和4年度 事業報告書

事業名	水素エネルギー啓発事業(水素エネルギー推進事業の継続)	新規・継続区分	継続
事項名	水素エネルギー啓発事業	開始年度	令和3年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標(値)

<p>【目的】 2050年「脱炭素社会」の実現に向けた取組として、再生可能エネルギーの一層の推進に資する水素に対する県民理解の促進を進める。</p> <p>【目標】 普及啓発イベントの来場・参加者数(キャンペーン等含む) 累計5,000人</p> <p>【令和4年度実績】 普及啓発イベントの来場・参加者数(キャンペーン等含む) 1,329人(累計 2,570人)</p>
--

2. 概要

再生可能エネルギーを含め多種多様なエネルギー源から製造し、貯蔵・運搬することができ、かつ電気・熱を取り出すことのできる「水素エネルギー」についての実証や環境教育を通して、脱炭素社会の実現を目指す。
--

3. 根拠法令等

<p>○経済産業省の「次世代エネルギーパーク」制度</p> <p>○とっとり次世代エネルギーパーク計画</p> <p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン(令和2年3月策定)</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 水素エネルギー体験教室	<p>エネルギーパークの東部地区の中核施設となる環境学習拠点「とっとり水素学習館」で、再生可能エネルギーを利用する「水素社会」について学ぶ環境教育を実施した。</p> <p>以下の内容を委託事業により実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内小中学校の社会科見学受け入れ(10校) ・子ども向け解説リーフレットの改訂・制作 ・学習用品の拡充(水素燃料電池ドローンの改修など)

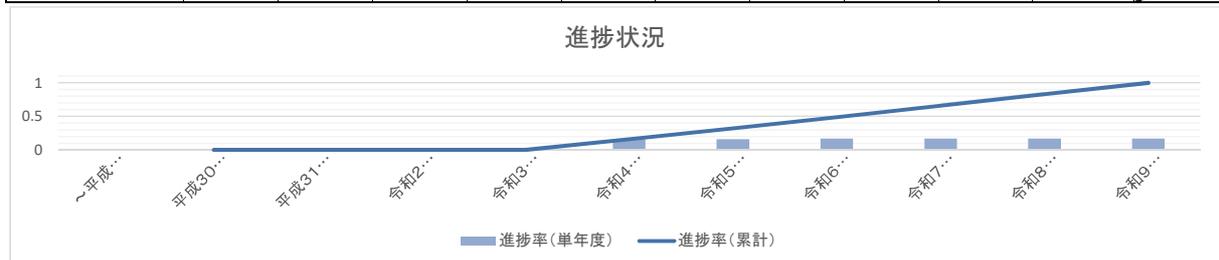
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	638,760	0	638,760	水素エネルギー体験教室
需用費	50,739		50,739	水素エネルギー体験教室用備品(コットンバッグ等)
合計	689,499	0	689,499	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		0	0	0	234	689	1,000	1,000	1,000	1,000	
事業費(累計)		0	0	0	234	923	1,923	2,923	3,923	4,923	

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		0%	0%	0%	25%	26%	13%	12%	12%	12%	
進捗率(累計)		0%	0%	0%	25%	51%	64%	76%	88%	100%	



令和4年度 事業報告書

事業名	環境教育・実践推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・実践推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 温室効果ガス削減、持続可能な社会の構築を推進するため、県民、団体、事業者、行政等の各主体で一体となった県民エコ運動を展開する中で、環境教育と実践活動との連携や情報発信の強化に重点をおき、県民の環境への関心を高め行動につなげるための環境教育、普及啓発、活動支援等に取り組む。また、県内全域に数多くある多種多様な再生可能エネルギー施設（とっとり次世代エネルギーパーク）を活用して、エネルギーを通じた環境教育活動や環境保全活動を推進する。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）の新規登録者数 <ul style="list-style-type: none"> ・98人（平成30年4月）→200人（令和8年度までの累計新規登録者） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数 <ul style="list-style-type: none"> ・101人（平成30年4月）→150人（令和8年度） ○エコ宣言の数 <ul style="list-style-type: none"> ・4,020人（平成30年3月）→30,000人（令和8年度） ○子どもエコクラブ登録人数の新規登録者数 <ul style="list-style-type: none"> ・8,449人（平成30年3月）→10,000人（令和8年度までの累計新規登録者） <p>【令和4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）新規登録者数 27名（累計227名） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー新規登録人数 1名（累計114名） ○エコ宣言の数 687名（9,946名） ○子どもエコクラブ新規登録人数 0名（累計9,104名）

2. 概要

<p>家庭、地域、企業、NPOなど全ての主体が、連携・協働して県民運動的に環境配慮活動を実践するため、地球温暖化防止活動や環境管理システムの普及啓発、人材育成及び活動支援を行う。また、地域の未来は県民みんなで創り出すものとの認識のもと、環境の様子や変化に気づき、環境問題の解決に向けて自ら考え行動する人を育てるため、幼児から大人まで全ての世代を対象に環境教育・学習を推進する。</p>
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定） ○地球温暖化対策推進法→鳥取県地球温暖化対策条例 <ul style="list-style-type: none"> →鳥取県地球温暖化防止活動推進センター指定要綱 →鳥取県地球温暖化防止活動推進員設置要綱 ○とっとり環境教育・学習アドバイザー制度運営要領 ○TEAS取組校へのとっとり環境教育・学習アドバイザー派遣要領 ○自治会等へのとっとり環境教育・学習アドバイザー派遣要領 ○子どもエコクラブ事業実施要領（(公財)日本環境協会（子どもエコクラブ事務局）作成） <ul style="list-style-type: none"> →鳥取県子どもエコクラブ活動支援補助金交付要綱 ○鳥取県環境保全活動支援補助金交付要綱
--

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 地球温暖化防止活動・環境教育推進事業	<p>鳥取県地球温暖化防止活動推進センターの運営業務として、地球温暖化防止活動や環境教育との連携を図りながら、官民一体となって推進する業務を民間団体に委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域で環境活動を推進する人材の育成・支援 推進員養成研修を開催（2回）し、推進員や環境教育・学習アドバイザー等を対象にしたスキルアップ研修、eラーニングシステムを使った研修を行い、地球温暖化防止活動推進員の人材育成・支援を実施した。とっとり環境教育・学習アドバイザー制度を運用し、アドバイザーの人材発掘（1名）を行った。 ○地球温暖化防止活動・実践方法の情報発信・普及啓発 WEBサイトへの啓発動画の掲載やイベントへのブース出展、関係者へのメール発信等により地球温暖化防止活動・実践方法の情報発信・普及啓発を実施した。

<p>(2) 環境実践活動普及啓発事業</p>	<p>メディアとの連携、WEBの活用等により地球温暖化対策等に関する情報発信や主に児童に向けた環境教育を推進した。</p> <p>○県民総参加による環境実践活動の普及啓発 新聞掲載数：全5段広告掲載3回、連載記事9回（県内企業等によるとっとりエコライフ構想の推進に係る取組の紹介） ※Instagramを活用した身の回りのエコ活動を投稿する事業を実施した。（投稿数約300件）</p> <p>○環境教育の推進 ・ちびっこエコスタート フリーペーパー「スクスクめいと」に特集記事（鳥取スタイルPPAやとっとり健康省エネ住宅について）を掲載して、県内すべての幼稚園、保育所、認定こども園に配布し、親子を対象とした情報発信を行った。</p> <p>・こどもゼロカーボンチャレンジ 家庭で取り組んでほしいゼロカーボンアクションをまとめたリーフレットを県内小学校の全児童へ配布した。併せて、2050年ゼロカーボン社会実現へのアイデアを募集し、優秀者を表彰した。 参加者数：38名</p> <p>・エコアイデアコンテスト 応募数：865件 例年人気のコンテストだが、「脱プラスチック」をテーマに特別賞を設けたり、「食品ロス」をテーマにスクープ記事を募集するなど新たな試みを加えて作品を募集した。</p> <p>○再生可能エネルギー体験学習 再生可能エネルギーに関する体験講座「エネルギー教室」を夏休みを中心に開催し（20回）、延べ330人が参加した。</p>
<p>(3) 民間団体活動支援事業</p>	<p>地域や団体の環境実践のきっかけづくりや、他の模範となる環境活動の支援を行った。</p> <p>○こどもエコクラブ活動の支援 【交付対象】市町村【補助率】1/2 【こどもエコクラブ補助金】 メンバー、サポーター1人当たり700円を乗じた額を上限として、市町村が登録団体に補助する額の1/2を補助（間接補助） 交付先：5市町（こどもエコクラブ数32団体、メンバー等の総数4,364人）</p> <p>○自治会等へ環境教育・学習アドバイザー派遣制度 自治会等へ環境教育・学習アドバイザー派遣制度を行った。（4件）</p>

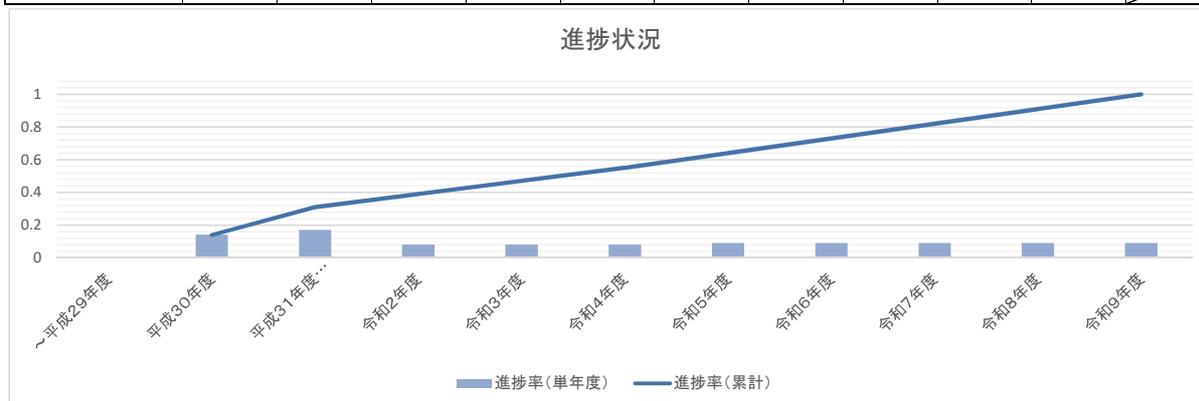
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	30,000	0	30,000	とっとり環境教育・学習アドバイザー派遣（地球温暖化防止活動・環境教育推進事業）
旅費	850	0	850	とっとり環境教育・学習アドバイザー派遣（地球温暖化防止活動・環境教育推進事業）
委託費	20,122,500	0	20,122,500	地球温暖化防止推進事業等業務委託8,050千円（地球温暖化防止活動・環境教育推進事業）、環境実践PR委託3,460千円・ちびっこエコスタート539千円・エコアイデアコンテスト3,113千円・夏休み！再エネ自由研究コンクール1,991千円・こどもゼロカーボンチャレンジ970千円・再生可能エネルギー体験学習2,000千円（環境実践活動普及啓発事業）
補助金	980,415	0	980,415	こどもエコクラブ補助金（民間団体活動支援事業）
合計	21,133,765	0	21,133,765	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 （令和元年度）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		9,543	24,043	22,717	22,002	21,134	21,954	21,954	21,954	21,954	
事業費（累計）		9,543	33,586	56,303	78,305	99,439	121,393	143,347	165,301	187,255	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		14%	17%	8%	8%	8%	12%	11%	11%	11%	
進捗率（累計）		14%	31%	39%	47%	55%	67%	78%	89%	100%	



令和4年度 事業報告書

事業名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	新規・継続区分	継続
事項名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	開始年度	平成30年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 ごみゼロ社会の実現に向けて、ごみ排出量の一層の削減を図るため、食品ロス削減に重点化した取組を継続実施し、県民を挙げたごみゼロ意識の醸成を図る。</p> <p>【目標】 啓発活動実施累計件数 24回(令和4～8年度)</p> <p>【令和4年度実績】 啓発活動実施累計件数 4回(令和4年度～ 累計4回)</p>

2. 概要

<p>鳥取県では、令和2年3月に策定した鳥取県廃棄物処理計画において「持続可能な循環型社会の構築」を基本理念とし、ごみの発生抑制につながる取組、中でも食品ロスの削減を重点的に取り組むこととし、子どもから大人まで全県民が一体となった、家庭や地域（買物、外食等）での実践的な運動を展開する。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）</p> <p>○廃棄物処理法→鳥取県廃棄物処理計画（令和2年3月策定）</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) ごみゼロポスターコンクール事業	<p>県内全域の小中高生を対象に、プラごみの排出抑制や食品ロス削減を呼びかけるポスターを募集し、ポスター作成を通して、児童生徒のごみゼロへの意識の深化を図った。</p> <p>また、最優秀を受賞したポスターについては、県内公共施設等へ掲示を要請し、マイボトル運動やプラごみゼロチャレンジなどの県事業に活用することで、県民全体への意識啓発を図った。</p> <p>○ポスター応募数：84件</p>
(2) 幼児を対象とした意識啓発活動	<p>幼少期から食べ残しを減らす意識や物を大事にする意識を醸成するため、実践活動団体に委託して、歌、絵本や紙芝居等を使った啓発活動を行った。</p> <p>○実施個所 県内の保育所・幼稚園・認定こども園等 14箇所</p>
(3) Let's 4 R 実践活動推進補助金	<p>環境講演会の開催、生ごみコンポストの推進など、ごみ減量・リサイクルの実践活動に対して支援を行った。</p> <p>交付先：1市2団体（補助率：1/2、限度額：500千円）</p>
(4) おいしい! とっとり 30・10食べきり運動（啓発活動）	<p>忘新年会や歓送迎会等の宴会シーズンを中心に、宴会での食べ残しを減らす「3010食べきり運動」の実施と定着を図るため、ポスター500枚、チラシ4,400枚を制作し、関係団体への協力要請や啓発活動を行った。</p>
(5) スーパー等でのキャンペーン実施など啓発活動	<p>スーパー等を対象とした賞味期限や食べきりに係る食品ロス削減の啓発（啓発POPの配布・掲示）を実施したほか、飲食店等を対象とした食べきり等食品ロス削減に係る必要な啓発資材を制作し啓発を実施した。</p>

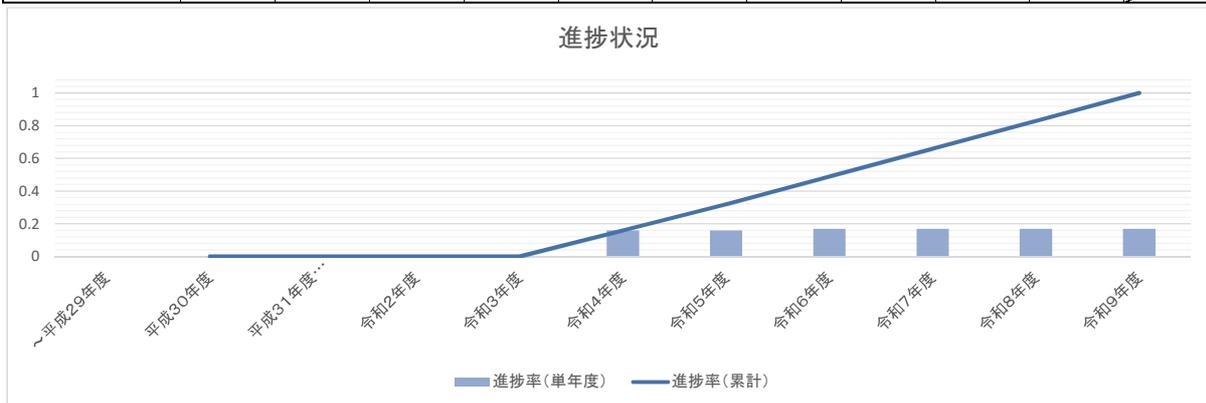
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	67,320	0	67,320	記念品（ごみゼロポスターコンクール事業）
印刷製本費	287,760	0	287,760	スーパー等でのキャンペーン実施など啓発活動151,800円、おいしい！とっとり30・10食べきり運動135,960円
委託費	393,035	0	393,035	幼児を対象とした意識啓発活動
補助金	89,083	0	89,083	Let's 4 R 実践活動推進補助金
合計	837,198	0	837,198	(単位：円)

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		3,899	1,633	1,541	2,551	837	2,565	2,565	2,565	2,565	
事業費（累計）		3,899	5,532	7,073	9,624	10,461	13,026	15,591	18,156	20,721	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		0%	0%	0%	0%	16%	21%	21%	21%	21%	
進捗率（累計）		0%	0%	0%	0%	16%	37%	58%	79%	100%	



令和4年度 事業報告書

事業名	もったいない！食べ残しゼロ事業	新規・継続区分	継続
事項名	もったいない！食べ残しゼロ事業	開始年度	令和4年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 県民が実践可能な食品ロス削減のための取組を普及させることにより、一般廃棄物の削減に寄与するとともに、食品ロス削減に係る県民の意識醸成を図る。</p> <p>【目標】 食品ロス食べきり協力店の登録数 225件</p> <p>【令和4年度実績】 食品ロス食べきり協力店の登録数 34件（令和4年度～ 累計34件）</p>
--

2. 概要

<p>鳥取県では、令和2年3月に策定した鳥取県廃棄物処理計画において「持続可能な循環型社会の構築」を基本理念とし、ごみの発生抑制につながる取組、中でも食品ロスの削減を重点的に取り組むこととしている。県民が実践可能な食品ロス削減のための取組を普及させることにより、一般廃棄物の削減に寄与するとともに、食品ロス削減に係る県民の意識醸成を図る。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）</p> <p>○廃棄物処理法⇒鳥取県廃棄物処理計画（令和2年3月策定）</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) もったいない！食べ残しゼロ事業	<p>「とっとり食べきり協力店」の登録依頼、協力店へのドギーバッグ配布を通じた持ち帰りの促進や新聞広告等を活用した取組の周知等により、食べ残しゼロによる食品ロスの削減を図った。</p> <p>○ドギーバッグ6,000枚配布（40枚×150店舗）、</p> <p>○飲食店への「とっとり食べきり協力店」への登録依頼（約3,000店舗）</p> <p>○広告掲載数3回（地域誌2回、新聞1回）等</p>
(2) フードドライブ活動推進事業	<p>事業所や市町村等と連携した「フードドライブ」を実施し、活動への理解と取組の促進を図った。</p> <p>実施期間：①令和4年7月、②9月～10月、③令和5年1月</p> <p>実施場所：①県庁機関を含む16市町村 計25窓口で実施 ②県庁機関を含む生協支所等 計17窓口で実施 ③県庁機関を含む全19市町村 計32窓口で実施（2事業所も参加）</p> <p>寄付食品数：合計4,487点（4,831kg）</p>

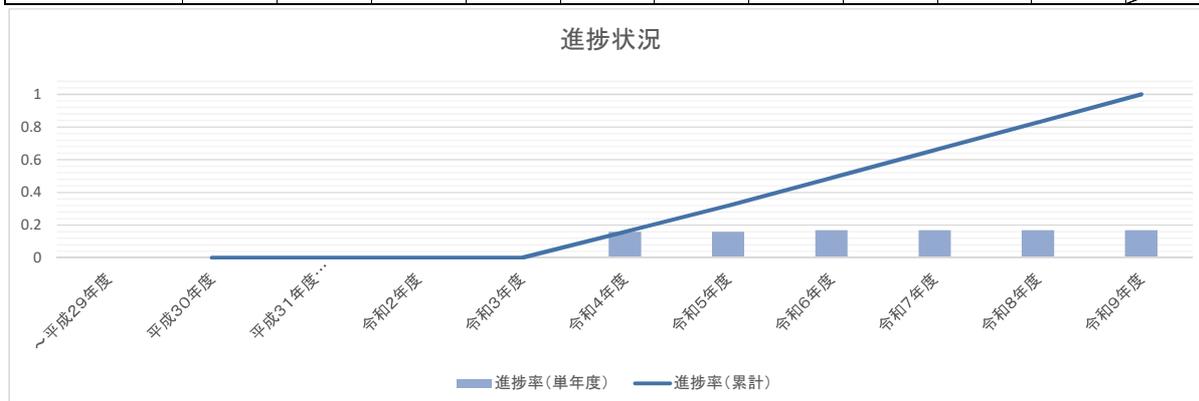
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	5,136,362	0	5,136,362	もったいない！食べ残しゼロ事業3,565,320円、フードドライブ活動推進事業1,571,042円
合計	5,136,362	0	5,136,362	(単位：円)

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		0	0	0	0	5,136	7,668	7,668	7,668	7,668	
事業費（累計）		0	0	0	0	5,136	12,804	20,472	28,140	35,808	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		0%	0%	0%	0%	16%	21%	21%	21%	21%	
進捗率（累計）		0%	0%	0%	0%	16%	37%	58%	79%	100%	



令和 4 年度 事業報告書

事業名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	新規・継続区分	継続
事項名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	開始年度	令和元年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 近年、国際的な問題となっている海洋プラスチックごみ等のプラスチックごみ問題について、県民への問題意識を喚起するため、プラスチックごみの現状や課題、問題解決に向けた取組を実施し、プラスチックごみの減量とリサイクル推進を図る。</p> <p>【目標】 プラごみ削減取組協力企業等の登録件数 85件（令和 8 年度）</p> <p>【令和 4 年度実績】 プラごみ削減取組協力企業等の登録件数 13件（令和元年度～ 累計58件）</p>

2. 概要

<p>プラスチックごみゼロ社会の実現に向けて、県民、企業、行政が一体となってプラスチックごみの排出抑制や再資源化を推進する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和 2 年 3 月策定） ・廃棄物処理法⇒鳥取県廃棄物処理計画（令和 2 年 3 月策定）</p>
--

4. 実施内容等

区分	内容
(1) とっとりプロギング開催事業	<p>ごみ拾いをしながらジョギング（プロギング）する大会を開催し、健康志向の高い県民を取り込みごみ拾いに参加していただくことで、プラごみゼロの意識向上を図った。</p> <p>開催時期：令和 4 年 6 月 2 5 日（土） 参加人数：1 9 人 等</p>
(2) 河川におけるプラごみ調査	<p>県民（小学生以上）が河川に流れ込むプラごみの実態調査を体験することでプラごみ問題の認識を深めてもらい、さらに調査結果を新聞広告等で公表することにより県民意識の向上を図った。</p> <p>実施日時：令和 4 年 1 0 月 2 9 日（土） 調査場所：米子市加茂川（米子市四日市町周辺） 参加者数：21名 ごみ回収量：約8, 600g</p>
(3) マイボトル使用推進事業	<p>プラスチック製品の使用抑制の取組を県民に促すため、マイボトル運動キャンペーンの実施を通じてプラごみ問題への意識啓発を図った。</p> <p>実施時期：令和 4 年 1 0 月 1 5 日～令和 4 年 1 2 月 1 5 日 実施内容：協力店でマイボトルを使用するとスタンプがもらえ、抽選に参加できるスタンプキャンペーンと、マイボトルを使用している写真を SNS に投稿した人の中から抽選で景品があたるハッシュタグキャンペーンを実施</p>
(4) 「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業補助金	<p>地域住民等の団体が実施するプラごみ削減に関する取り組みに対して支援を行った。</p> <p>交付先：1 市 2 団体（補助率：1/2、限度額：250 千円）</p>

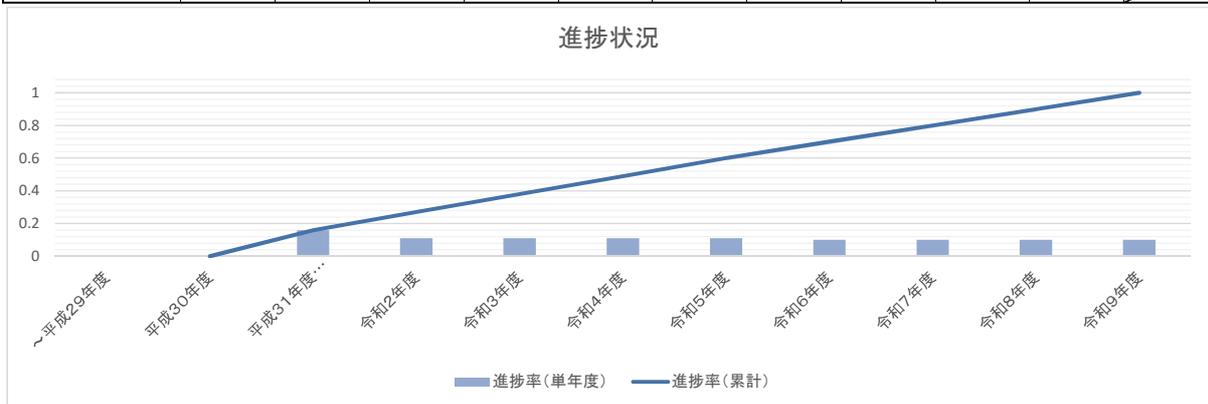
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
旅費	40,460	0	40,460	学生旅費（河川を流れるプラゴミ調査）
需用費	0	0	0	参加者への記念品（河川を流れるプラゴミ調査）
役務費	2,428	0	2,428	保険料（河川を流れるプラゴミ調査）2千円、保険料（とっとりプロキング開催事業）2千円
委託費	4,614,040	0	4,614,040	マイボトル使用推進事業2,355千円、河川を流れるプラゴミ調査2,518千円、とっとりプロキング開催事業736千円
補助金	458,213	0	458,213	「とっとりプラゴミゼロ」チャレンジ事業補助金
合計	5,115,141	0	5,115,141	(単位：円)

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		0	923	145	6,306	5,115	3,802	3,802	3,802	3,802	
事業費（累計）		0	923	1,068	7,374	12,489	16,291	20,093	23,895	27,697	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		0%	16%	11%	11%	11%	13%	13%	13%	12%	
進捗率（累計）		0%	16%	27%	38%	49%	62%	75%	88%	100%	



令和 4 年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性保全事業	開始年度	平成 3 0 年度
担当部署	緑豊かな自然課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
県内における希少野生動植物の保護及び生息・生育環境の保全、外来生物の駆除により、県民参加による生物多様性の保全を推進する。

【目標】
県が行う希少野生動物保護や外来生物の防除等への取組参加者数 年間200人

【令和 4 年度実績】
県が行う希少野生動物保護や外来生物の防除等への取組参加者数 年間555人
※年間人数は、緑豊かな自然課が所管する補助事業により支援を行った取組への参加者数。延べ人数。

2. 概要

鳥取県生物多様性地域戦略や主としてSDGsの「目標 1 5 陸の豊かさを守ろう」を推進するため、「とっとり生物多様性推進センター」を中心に、従来から行ってきた県内における希少野生動植物の保護及び生息・生育環境の保全、外来生物の駆除、県民への情報の周知等を充実させ、県民参加による生物多様性の保全を推進するとともに、本県の豊かで美しい自然を守り未来に引き継いでいく機運の醸成を図る。

3. 根拠法令等

- 鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和 2 年 3 月策定）
- 生物多様性基本法→生物多様性国家戦略→鳥取県生物多様性地域戦略
- 生物多様性地域連携促進法

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 生物多様性の保全・推進に係るフォーラム	県レッドデータリストの更新やCOP 1 5 の結果を踏まえて、県民に対し、世界の動向や県内の状況、レッドデータリストの改訂等を周知するフォーラムの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を取りやめた。

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	0	0	0	生物多様性の保全・推進に係るフォーラム
合計	0	0	0	(単位：円)

年度（単位：千円）	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費（単年度）		0	0	0	0	0	3,000	3,000	3,000	3,000	
事業費（累計）		0	0	0	0	0	3,000	6,000	9,000	12,000	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		0%	0%	0%	0%	16%	21%	21%	21%	21%	
進捗率（累計）		0%	0%	0%	0%	16%	37%	58%	79%	100%	



令和4年度 事業報告書

事業名	とっとり健康省エネ住宅普及促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	とっとり健康省エネ住宅普及促進事業	開始年度	令和3年度
担当部署	住まいまちづくり課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 県独自の健康省エネ住宅性能基準により建設される高性能省エネ住宅（とっとり健康省エネ住宅）の普及を図り、県民の健康維持・増進、住宅の省エネ化及びCO2排出量の削減を目指す。</p> <p>【目標】 木造建て住宅の新築着工戸数に対するとっとり健康省エネ住宅の割合 80%</p> <p>【令和4年度実績】 木造建て住宅の新築着工戸数に対するとっとり健康省エネ住宅の割合 31%</p>
--

2. 概要

<p>国の省エネ基準を上回る高い省エネ性能を持つ住宅を普及させることで、県民の健康の維持・増進、省エネ化の推進及びCO2の削減を図ることを目的に、戸建住宅における県独自の健康省エネ住宅性能基準を令和2年に策定し、さらに既存住宅の省エネ改修に係る県独自基準を令和4年に策定した。新築と既存住宅改修により住宅の省エネ化を進めていくために、健康省エネ住宅による健康への影響や光熱費の削減効果等をまとめた広報物を作成し、普及啓発を図る。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) とっとり健康省エネ住宅の普及・情報発信等	<p>県独自の健康省エネ住宅性能基準により建設される高性能省エネ住宅（とっとり健康省エネ住宅）についての理解・普及を促進するために、健康省エネ住宅改修基準や改修パターンごとのメリット等を伝える広報物を作成し、消費者向けの広報・啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康省エネ住宅改修基準『Re NE-ST』（リネスト）のロゴ、PR動画 ○ポスター・パンフレット・ホームページ版下作成 ○新聞広告掲載

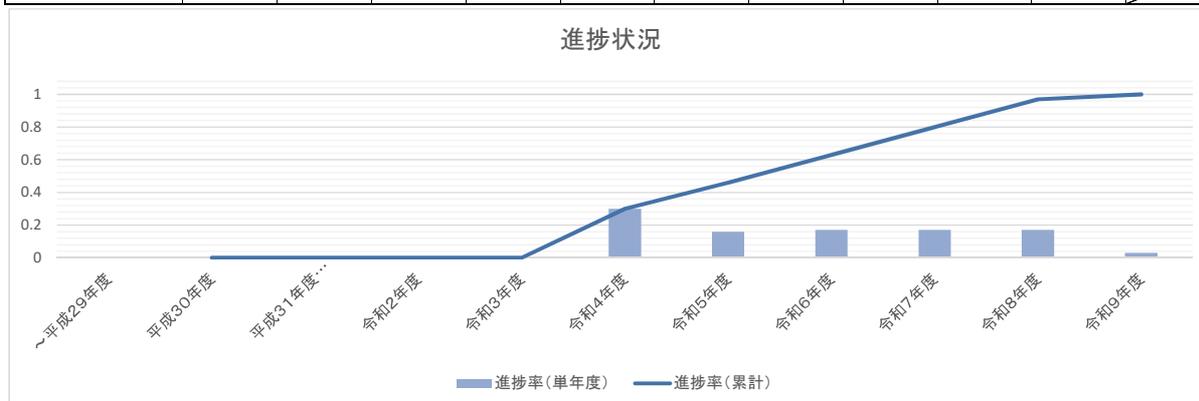
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	5,223,710	0	5,223,710	とっとり健康省エネ住宅の普及・情報発信等
合計	5,223,710	0	5,223,710	(単位：円)

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		0	0	0	0	5,224	5,694	3,000	3,000	3,000	
事業費（累計）		0	0	0	0	5,224	10,918	13,918	16,918	19,918	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		0%	0%	0%	0%	30%	27%	15%	14%	14%	
進捗率（累計）		0%	0%	0%	0%	30%	57%	72%	86%	100%	



令和 4 年度 事業報告書

事業名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	くらしの安心局水環境保全課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 ラムサール条約登録湿地である中海の流入源対策をはじめ、湖山池、東郷池及び中海における自然環境の保全、環境問題の普及啓発などの活動を実施する自治会又は環境保全団体等を支援し、県民との協働による湖沼の自然環境の保全及び賢明な利用を推進する。</p> <p>【目標】 平成30年度から令和 8 年度までの10年間に「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」を45団体へ交付する。</p> <p>【令和 4 年度実績】 「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体 3 団体（平成30年度～ 累計 1 3 団体）</p>
--

2. 概要

<p>次の間接補助事業に「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然環境創造事業（ビオトープの保全・再生／水質浄化対策（ヨシ等の水生植物の植栽を含む）／貝類、稚魚等の放流／地域の伝統的な環境の創造・保全に資する事業） ○普及啓発事業（生物多様性からの地域づくりの推進（外来種の防除、湖沼の生態系のPR活動等、湖沼の生物多様性の確保に資するもの）／環境問題の普及啓発活動（湖沼の自然環境の保全に関するもの）／利活用を促進する活動（湖面を利用するスポーツ体験及び湖沼の産物を使った調理体験の実践等、地域における湖沼の利活用を促進するもの）） ○流入源対策事業 中海及びその上流地域において河川等の清掃活動を行うこと。
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和 新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和 2 年 3 月策定） ○鳥取県補助金等交付規則（昭和 32 年鳥取県規則第 22 号） ○みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金交付要綱 ○平成23年3月28日付第201000194915号鳥取県生活環境部長通知

4. 実施内容等

区分	内容
みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金	<p>【補助対象】 鳥取市（湖山池アダプトプログラム実行委員会） 鳥取市（ひょうたん島実行委員会） 米子市（NPO法人中海再生プロジェクト）</p> <p>【補助率】鳥取市（県1/2 市町1/2） 米子市（県2/3 市町1/3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○湖山池（交付先：2 団体） <ul style="list-style-type: none"> ・湖山池周辺を清掃し、環境保全に対する啓発活動を行った。 秋の早朝一斉清掃：令和 4 年10月14日（金） 参加 12団体（延べ122名） 春の一斉清掃：令和 5 年 3 月12日（日） 参加 9 団体（延べ85名） ・湖山池オアシスパーク湖岸の浅瀬でシジミ狩りを実施した。 令和 4 年 7 月30日（土） 参加 220名 ○東郷池（交付先：0 団体） <ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルス感染症予防に伴う事業内容変更により、当補助金を使わなかったもの。 ○中海（交付先：1 団体） <ul style="list-style-type: none"> ・中海の水質浄化を図る展示について動画配信し、中海の活用を考える意見交換会を実施した。

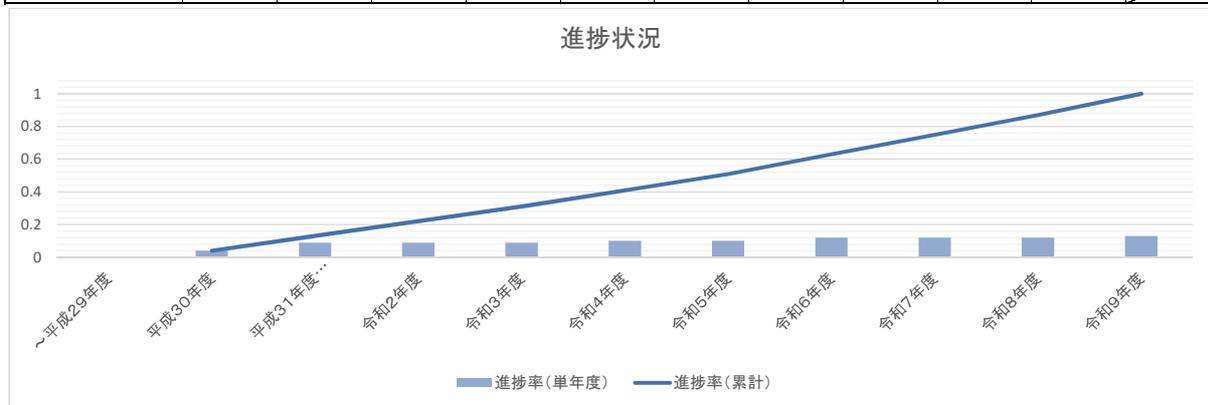
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	681,666	0	681,666	みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金（鳥取市185千円、湯梨浜町0千円、米子市497千円）
合計	681,666	0	681,666	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		660	925	208	66	682	1,500	1,500	1,500	1,500	
事業費 (累計)		660	1,585	1,793	1,859	2,541	4,041	5,541	7,041	8,541	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		4%	9%	4%	5%	7%	13%	18%	20%	20%	
進捗率 (累計)		4%	13%	17%	22%	29%	42%	60%	80%	100%	



令和4年度 事業報告書

事業名	”ラムサール条約湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	”ラムサール条約湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	開始年度	令和2年度
担当部署	くらしの安心局水環境保全課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 県民の貴重な資源である中海の豊かな自然や恵みを次世代へ引き継ぐため、地域住民に対して中海の生態系やそれを守ろうとする住民活動をわかりやすく動画で伝え、地域住民の環境保全の行動を促すための意識醸成を図るとともに次世代を担う子供たちを対象に中海周辺の身近な生物について現地体験型の教育普及活動を行うことを目的とする。</p> <p>【目標】 平成30年度から令和8年度まで、延べ40拠点での普及啓発を行う。</p> <p>【令和4年度実績】 普及啓発を行った拠点数 0 拠点（新型コロナウイルスの影響により実績なし）（令和2年度～ 累積4 拠点）</p>

2. 概要

<p>ラムサール条約登録湿地の中海に生息する植物、魚介類、鳥類等の映像のほか、気候風土、歴史や生態系と人とのつながり、さらに地域住民や団体が行っている環境保全活動の動画を制作し、次世代を担う子どもたちをはじめとする県民向けの環境教育及び情報発信を行う。また、県内で実施する中海利活用イベント等での上映を行い、地域住民の環境保全への意識醸成を図る。公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団が行う中海の身近な生き物に関する普及啓発活動に米子市を通じて助成する。なお、令和2年度（湿地登録15周年）、令和6、7年度（同20周年）に2回の動画制作を予定。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定） ○湖沼水質保全特別措置法（昭和59年7月27日法律第61号） ○湖沼水質保全基本方針（平成18年1月26日環告第29号） ○中海に係る湖沼水質保全計画（第6期，平成27年3月） ○鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号） ○鳥取県美しく豊かな水環境を次世代につなぐ環境教育推進事業補助金交付要綱（令和2年3月25日付第201900312876号）</p>

4. 実施内容等

区分	内容
美しく豊かな水環境を次世代につなぐ環境教育推進事業補助金	<p>【交付対象】 米子市（公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団） 【補助率】 県1/2 市1/2</p> <p>○環境保全動画による普及啓発 令和4年度普及啓発地点数 0 件</p> <p>○公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団への補助金 【実施内容】 ・環境学習、普及啓発事業 こどもエコクラブ（95名参加） こどもラムサールクラブ（41名参加） 「中海の生きもの展ーヨシ原の住民たちー」（5,232名来場） 「中海周辺の水草展」（1,582名来場） 他6事業（延べ180名参加） ・生態系の実態把握 鳥類標本制作委託（4点） 昆虫カレンダー（250部配布）</p>

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	1,250,000	0	1,250,000	美しく豊かな水環境を次世代につなぐ環境教育推進事業補助金
合計	1,250,000	0	1,250,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		0	0	2,050	1,250	1,250	1,250	6,250	6,250	1,250	
事業費 (累計)		0	0	2,050	3,300	4,550	5,800	12,050	18,300	19,550	

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		0%	0%	10%	0%	0%	15%	30%	30%	15%	
進捗率 (累計)		0%	0%	10%	10%	10%	25%	55%	85%	100%	

